

本調子

七	い
五	
工	
五	
四	
上	
中	
工	
上	
老	
四	
工	

四	か
合	な
七	や
合	
五	ん
七	ば
工	る
中	
工	ぬ
五	
四	か
上	り

中	き
合	
工	じ
五	ま
工	や
五	
四	てい
中	ん
上	
合	よー
上	
四	

上	
合	
中	い
合	も
工	り
合	
工	
中	
工	も
五	り
中	さ
上	とう

四	め
工	
四	ジン
乙	ト
合	ヨー
工	
四	は
上	な
中	ん
工	
上	さ
老	ちゅ

四	さ
工	
七	ジン
五	ト
工	ヨー
五	
四	は
上	な
中	ん
工	
上	さ
老	ちゅ

四	さ
工	
四	
乙	
合	
工	
四	
上	
中	
工	
上	
老	

四	○
工	
七	
五	
工	
五	
四	
上	
中	
工	
上	
老	

[illegible]

国頭ジントヨ

本調子

2/2

一、如何な山原の 枯木島やてもヨ

いもりもり里前 ジントーヨ

花も咲ちゆさ ジントーヨ

花も咲ちゆさ

※いかなやんばるぬ

かりきじまやていんヨ

いもりもりさとうめジントヨ

はなんさちゆさジントヨ

はなんもさちゆさ※

三、野辺の百草の 緑ましゆ頃やヨ

我身も年頃の ジントーヨ

花も咲ちゆさ ジントーヨ

花も咲ちゆさ

※ぬびぬむむくさぬ

みどうりましゆくるやヨ

わみんとうしぐるぬ ジントヨ

はなんさちゆさ ジントヨ

はなんさちゆさ※

五、まじしさるなかも互に肝合わちヨ

一人たれいだれい ジントーヨ

ちばていかな ジントーヨ

ちばていかな

※まじしさるなかん

たげに ちむあわち ヨ

ちゆいたれだれー ジントヨ

ちばてい いかな ジントヨ

ちばてい いかな※

二、無蔵が云るごとに山原に来りばヨ

野山若々と ジントーヨ

眺め美らさ ジントーヨ

眺め美らさ

※んぞがいるぐとくに

やんばるにちやーりば ヨ

ぬやまわかわかとうジントヨ

ながみじゆらさ ジントヨ

ながみじゆらさ※

四、山原の泉あま水の 湧ちゆしヨ

何時も若々と ジントーヨ

緑 ましゆさ ジントーヨ

緑 ましゆさ

※やんばるぬいずん

あまみじぬ わちゆしヨ

いちんわかわかと ジントヨ

みどり ましゆさ ジントヨ

みどり ましゆさ※

六、互に住みなれば 山原也都ヨ

思る仲やれば ジントーヨ

肝どやゆる ジントーヨ

肝どやゆる

※たげにしみなりば

やまぐにんみやく ヨ

うむるなかやりば ジントヨ

ちむどうやゆる ジントヨ

ちむどうやゆる※

山国に居ても 町方に居てもヨ

肝持ちど第一 ジントーヨ

身なり第一 ジントーヨ

身なり第一

※やまぐにに うていん

まちがたにうていん ヨ

ちむむちどうでーいちジントヨ

みなりでーいち ジントヨ

みなりでーいち※